#### 1 事業所等の概要

事	業所		の名	称	立丿	川競	輪場	<u>1</u>															
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	0	0	4									
	_				₹	1	9	0	_	0	0	1	2	区	市	町	村	名	東京都	立川市	Ħ		
事	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	<b>地</b> 下	曙町		32-								-					
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		38	,825	.01	$m^2$	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の :	実 <i>i</i> ・ 使	績 [ 〕	年月月		の間	<b>■</b> 14	年度分	•		1年未清
所	有		形	態		自己	1所1	有		〕他	1者列	桁											
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の	)— <sup>‡</sup>	郭(ラ	ーナ、	ント	·)			〕建物	<b>ガの</b> 一	部(	その	他)
却	告範囲	I M F	ーたス日	1 1/2		事務	所					商業	纟施	没(4	物原	反)			〕商業	羊施設	(飲	食)	
羊区	口軋世	リマノゴ	こに公开	1 歴		工場	<u>=</u> 7					複合	施	設					] その	他			
	本 標 おける	6細2	分類番	号	8	0	3	1	連	鎖化	(事業	<b>美区</b> 2	分		Ī	直営	·店		口加	盟店			非該当
再の	生可能	ドエ 用	ネルキ 状	· 况				エネ すの設		_		再生気の			ネル	ギ	一電	i		書によ 利用	てる環	環境信	H値
前か	年度らる	の 執 り <i>ਭ</i>		容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 480	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	933	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 10	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup> 943	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 24.0	$kg-CO_2/m^2$

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup>
	都市ガス 然 その他(LPG) その他(灯油)		使用		6	7	<b>®</b> =( <b>⑥</b> /1000)× <b>⑦</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス		$\mathrm{Nm}^3$	92,851.8	45.00	4,178.3	0.0136	208.4	
料料	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
及	その他(灯油)			L	630.0	36.70	23.1	0.0185	1.6
び熱	その他(A重油	)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
7773	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,479,582.0	9.76	14,440.7	0.4890	723.5
規貝	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 18,642.2		933.4
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	16,010.0			0.2660	4.3
他	´´   ハ ロ. <del>  </del> 1. ) <del>と</del>			$\mathrm{m}^3$	16,010.0	/		0.4000	6.4
		合 計							10.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

散体制の整備	対策番号 A208	対策名 組織横断的な推進体制の整備	対策番号 A203	対策名
後体制の整備	A208	組織横断的な推進体制の整備	A203	
戦体制の整備			11200	具体的な取組目標と内容の設定
ネルギー等の 月状況の把握	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
運用対策	C502	採光を利用した消灯の実施	C104	採光を利用した消灯の実施
			C109	空室・不在時等の空調停止
			C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
			C509	中央熱源機器等の季節設定実施
			C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
			C515	自動販売機の不要時の停止
			C516	外灯等の点灯時間の季節別管理
			C510	その他設備の不使用時の停止
	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
設備保守対策	D107	ボイラ等の空気比の調整	D104	空調フィルターの清掃・点検
	E109	空調の冷温水配管の保温の実施		全熱交換器の導入
設備導入対策			E138	高効率無停電電源装置の導入
			E139	進相コンデンサ等による力率改善
	月状況の把握	田状況の把握 C105 C502 運用対策 D103 D107 E109	田 状 況 の 把 握	日 状 況 の 把 握

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無						
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%			
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t			
	その他	特記事項に内容を記載					

6	特記事項				

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市·	健康	会倒	館														
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	0	1	0									
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	1	1	区ī	† 町	村。	名词	東京都立川市	<b>i</b>				
事	業所	等 0	所 在	地	町。以	名 番	争 地 下	高枢	计3	-22	-9												
事	業所等	争の	延床面	ī積		3	,861	.04	$m^2$		業 ア ネ ル				責年 用:		か 間	■ 1年度分	[	□ 1	年未満		
所	有		形	態		自己	]所	钉		] 他	1者列	桁											
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の	)— <sup>₽</sup>	部(ラ	ーナン	√ <b>ト</b> )			建物の一部	部(そ	その作	也)		
华口	生 猝 匣	i on i	ナたる田 冷		の主たる用途			事務	所					商業	(施	没(物	加販)			商業施設	(飲1	食)	
羊区	口即进	リマノヨ	こに公开	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他					
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	4	2	9	連	鎖化	么事 🤻	<b>美区</b> 2	分		直営	店		□ 加盟店		<b>■</b> ∌	丰該当		
再の	生可育	とエ 用	ネルキ 状				三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ルギ	一電		□ 証書によ □ の利用	る環	境価	値		
前か	年度らの			容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エジ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	130	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	252	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	253	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	65.2	$kg-CO_2/m^2$

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・>1-11)	推計		<b>法</b> 田昌.	1万米4	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス		$\mathrm{Nm}^3$	4,726.0	45.00	212.7	0.0136	10.6	
燃料	その他()			0.0					
及	その他()			0.0					
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	494,699.0	9.76	4,828.3	0.4890	241.9
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 5,040.9		252.5
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	2,200.0			0.2660	0.6
他	·   // II. 一 I. /			$\mathrm{m}^3$	2,200.0			0.4000	0.9
	<u> </u>						1.5		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A202	温暖化対策推進担当の配置
組糸	織体制の整備				
	) )) // // // // // // // // // // // //	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C502	採光を利用した消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
日工				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
ネ				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
ルギ				C510	その他設備の不使用時の停止
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
				E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策			E132	エアカーテンの設置

実績年度の目標達成の状況 ■ 目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	190.0	t
	その他	特記事項に内容を記載			

# 6 特記事項

C104(採光を利用した消灯の実施)、C112(季節に応じた外気導入量の適正化)、C507(温度計等による室温の把握と 調整)

#### 1 事業所等の概要

	J / [ ]		- 100	•																			
事	業月	〒 等	の名	称	立)	川市	市国	会会	館														
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	0	1	1									
					Ŧ	1	9	0		0	0	2	2	区	市	町	村	名	東京都立	川市			
事	業所	等の	)所 在	土地	町夕以	名 番	地下	錦町	ſ3 <b>–</b> 3-	-20													
事	業所	等の	延床面	重積		11	,995	.68	$m^2$	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 ; · 使	績	年 用	度期	の間	■ 1年	度分		] 1	年未満
所	*	Î	形	態		自己	]所	有		] 他	1.者所	斤有											
報	ᅼ	i	範	囲		建物	<b>カの</b> 全	全部		〕建	物の	)— <u>t</u>	郭(ラ	ーナ	ン	ト)			〕建物⊄	つ一部	ያ(そ	·の{	也)
也	生	日のう	ーたス日	る用途		事務	所					商美	き施!	設(/	物	販)			〕商業旗	包設 (1	飲食	£)	
平区	一 甲巴 区	ガマノコ	二/この刀	力还		工場	<u>司</u> 切					複合	計施計	設					■その他	pī			
に	おけれ	る細さ	€ 業 分 分 類 番	争号	9	5	1	1	連	鎖化	么事 🤻	<b>業区</b>	分		j	直営	店		□ 加盟	温店	I	<b>■</b> 身	丰該当
再の		能エ用	ネルキ 状	デー 況				エネ fの設	ルギ 置	_			三可能 )受入		ネノ	レギ	一電	Ì	□証書の利	Fによる J用	5環5	竟価	値
前 か			设 告 内 変 更	容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	437	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	849	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	4	t
	総計(④=②+③)	4	853	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	70.7	$kg-CO_2/m^2$

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計		// H F	1 Nr.1	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b></b>	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス		$\mathrm{Nm}^3$	114,970.0	45.00	5,173.7	0.0136	258.0	
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
700	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,208,780.0	9.76	11,797.7	0.4890	591.1
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 16,971.3		849.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	6,656.0			0.2660	1.8
他	公共下水道		$\mathrm{m}^3$	6,656.0	/		0.4000	2.7	
		合 計				/			<sup>16</sup> 4.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A204	取組状況の点検体制の構築
火口 ダ	職体制の整備	A208	組織横断的な推進体制の整備	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
자土. 月	戦性前の登場				
	4 1 H A A	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
	11 // // // // //	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C104	採光を利用した消灯の実施
		C123	温湿度の適正管理	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C109	空室・不在時等の空調停止
		C502	採光を利用した消灯の実施	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
省				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
エ				C508	空室・不在時等の空調停止
ネ				C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
ルギ				C510	その他設備の不使用時の停止
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
策	以拥体与对外	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況
■目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無							
	ベンチマーク区分	ランク	7 CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%				
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当た	) 67.0 kg-C	CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t				
	その他	特記事項に内容を	特記事項に内容を記載					

# 6 特記事項

B101(設備ごとに詳細に把握) C501(個室等不使用箇所のこまめな消灯)

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	女性	比総~	合セ	ンタ	_										
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	0	2	6							
			r -L		₹	1	9	0		0	0	1	2	区ī	† 町	村々	宮 東京	都立川	市		
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番 地 曙町2-36-2															
事	業所等	多の多	延床面	ī積		3	,167	.63	$m^2$		業				責年 用:	度 <i>0</i> 期 間		1年度分	<del>}</del>		1年未満
所	有		形	態		自己	]所	有		] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		] 建	物の	)一岩	部(ラ	ーナン	√ <b>ト</b> )		■建	物の一	·部(	(その	他)
共口	告範囲	$\phi$	・たて日	フ田冷		事務	所					商業	(施	没(物	加販)		□商	i業施設	분(飲	(食)	
羊区	口軋团	Vノ土	:/このH	1 歴		工場	<u>司</u>		□ 複合施調					設 □ その他							
に	本 標 : おける	細り	分類番	号	9	8	2	1	連	鎖化	(事)	<b>美区</b> 2	分		直営	店		加盟店	i		非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の			ルギ	一電		証書に。 の利用	よるヨ	環境信	<b></b> 面值
前か	年度の			容点																	

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 155	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	286	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	<sup>④</sup> 286	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	90.2	$kg-CO_2/m^2$

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田田 (1 ) 1 (1)	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	<b>®</b> =(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	39.6	45.00	1.8	0.0136	0.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(産業用	月以外の蒸気)		MJ	65,456.9	1.36	89.0	0.0600	3.9
び熱	その他(温水)			MJ	832,482.0	1.36	1,132.2	0.0600	49.9
7773	その他(冷水)			MJ	1,000,637.6	1.36	1,360.9	0.0600	60.0
_	一般送配電事業者の乗り取り入して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	の電線路を介して 供給された電気 夜間(22時~翌日8時)	172.1						
規則	]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				<sup>(4)</sup> 6,018.3		286.1	
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	1,353.4			0.2660	0.4
他	公共下水道		$\mathrm{m}^3$	1,366.8	/		0.4000	0.5	
		合 計							0.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
_	715 60 1 1 1 1 2 1 1 1 2 1 2 2 2 1 1 1 1 1 1

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A202	温暖化対策推進担当の配置
組糸	織体制の整備			A204	取組状況の点検体制の構築
T	ネルギー等の	B107	主要設備の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	用状況の把握			B102	関連他者からの情報を加えて把握
,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			B105	エネルギー使用量の前年度比較
	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
绀				C508	空室・不在時等の空調停止
省工					
ネ					2 温暖化対策推進担当の配置 D4 取組状況の点検体制の構築 D1 自ら入手可能な情報に基づく把握 D2 関連他者からの情報を加えて把握 D5 エネルギー使用量の前年度比較 D1 空室・不在時等のこまめな消灯 D2 照明スイッチに点灯範囲を表示 D8 温度計等による室温の把握と調整 D1 個室等不使用箇所のこまめな消灯 D4 利用状況に応じた空調の設定変更
ルギ					
1					
対					
策	設備保守対策				
	売 供送 ユ エレダ				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■有□□	無無					_	
	ベンチマーク	区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	1.5	%	
目標値等(選択)	CO2排出量(延	生床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t	
	その他		特記事項に内容を記載					

_	6 特	記事項				
I						
ı						
١						
١						

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	役所	Í													
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	0	3	2							
					Ŧ	1	9	0	_	8	6	6	6	区ī	市町	村。	名	東京都立川市			
事	業所	等 0	所 在	地	町。以	名 番	争 地 下	泉町	Γ1156	番地	1の9										
事	業所等	争の	延床面	ī積		25	,981	.60	$m^2$		業 ア ネ ル				責 年 用		か 間	■ 1年度分		1年	未満
所	有		形	態		自己	]所	钉		] 他	1者列	桁									
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の	)— <sup>₽</sup>	部(ラ	ーナン	/ト)			]建物の一部	『(そ	の他)	)
华口	告範囲	i on ti	ーたス日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	物販)			] 商業施設(	飲食	)	
羊区	口軋团	リマノヨ	こに公开	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細	分類番	号	9	8	2	1	連	鎖化	么事 🤻	<b>美区</b> 2	分		直営	店		□ 加盟店		非調	亥当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	i 況			三可能 記設備		ルギ 置	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書による の利用	る環境	适価値	
前か	年度らの			容点																	

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 577	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 1,114	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総計(④=②+③)	④ 1,120	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5) 42.8	$kg-CO_2/m^2$

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>徐毅</b> ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	104,238.2	45.00	4,690.7	0.0136	233.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油	)		L	400.0	39.10	15.6	0.0189	1.1
700	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	1,404,448.0	9.97	14,002.3	0.4890	686.8
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	394,841.0	9.28	3,664.1	0.4890	193.1
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	<sup>(4)</sup> 22,372.8		1,114.8
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	10,155.0	/		0.2660	2.7
他	公共下水道	-		$\mathrm{m}^3$	10,146.0			0.4000	4.1
		合 計				/			6.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

#### 4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
<u>√</u> □ √	サイチョッ 東岸	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定
水土 7	職体制の整備	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
				A207	排出状況の整理・分析・提供
	)	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
	11 1/1 1/1 1/2 1/2 1/2	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C123	温湿度の適正管理	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策	C502	採光を利用した消灯の実施	C114	事務用機器を省エネモードに設定
省		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
工				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
ネ				C506	余熱利用による早めの空調停止
ルギ				C508	空室・不在時等の空調停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
策	以加压力对从	D105	換気フィルターの清掃・点検	D106	ボイラ等の定期点検の実施
		D107	ボイラ等の空気比の調整	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
	  設備導入対策	E109	空調の冷温水配管の保温の実施		
	一一一				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

#### 6 特記事項

太陽光発電パネル364枚を設置し、最大60kwを発電。25kw×2台のコージェネレーションを設置し、その熱を利用できる排熱投入型冷温水発生機も設置。すべての窓ガラスに、複層ガラスを使用し、断熱を実現。約2,300㎡に屋上緑化を施し、ヒートアイランドを軽減。緑のカーテンを育て、冷房負荷を低減する。屋上に降った雨水を利用し、トイレの洗浄水等に使用。自動調光機能のある照明器具を設置し、集中管理を行ない無駄を省く。夏季や中間期の夜間に外気を建物内に取り入れ、冷房負荷を低減する。エレベータの使用制限。照明器具を間引き、事務室内の照度低減。庁舎内の室温を28度で冷房の集中管理。給湯器の利用制限。B104(設備ごとに詳細に把握)、C103(空室・不在時等のこまめな消灯)、C104(採光を利用した消灯の実施)

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	役所	富	士見	連約	所										
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	0	3	5							
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	1	3	ī 区	† 町	村名	1 東	京都立川	市		
事	業所等	等 <i>の</i>	所 在	地	町。以	名 番	<b>地</b> 下	富士	:見町	7-	17-	12									
事	業所等	きの タ	延床面	ī積			71	.42	$m^2$					実 績 使	責年 用:	度 <i>0</i> 朝 『		1年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己	別所不	有		] 他	1.者页	桁有									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の	)一音	部(ラ	ーナン	√ <b>ト</b> )			建物の一	一部(	(その	他)
华口	告範囲	ДÌ	・たて日	1.2		事務	歽					商業	(施	没(物	7販)			商業施調	没(飲	(食)	
羊区	口軋团	Vノ土	こにの月	1 还		工場	3 7					複合	施	没			_ ·	その他			
	本 標 : おける				9	8	2	1	連	鎖化	/事	<b>業区</b> 2	分		直営	店		加盟原	吉		非該当
再の	生可能	ミエ. 用	ネルキ 状	· 況				エネ fの設	ルギ 置	_		再生 気の			ルギ	一電		証書に の利用		環境促	話値
前か	年度の			容点																	

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 3	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 3	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 42.0	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計		// H I	1 Nr.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>小教</b> ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	11.6	45.00	0.5	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	7,371.0	9.76	71.9	0.4890	3.6
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 72.5		3.6
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	32.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	32.0			0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点文	策		その他対策
		対策番号		対策名	対策番号	対策名
組糸	戦体制の整備					
		B106	塩土のゴーカ	 こよる傾向の把握	B101	    自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の		週去のケータ	これの河道口で江西	D101	日の八十円肥は旧報に基づ、犯性
使月	用状況の把握					
		C105	昼休み時の消	 灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を	業務終了時に停止	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
		C503	利用客数の時	間帯別把握	C504	利用状況に応じた空調の設定変更
	運用対策					
省						
エ						
ネル						
ルギ						
]						
対 策	設備保守対策					
/K						
					-	
	設備導入対策					
					1	
実績	<b>賃年度の目標達成</b>	の状況	□目標達成	成した。		
		\\		<del>.</del>		
	是出年度の地球			1		
<u> </u>	標の有無		無無	> . h	Ico	机件本(46年11)
— J.=	E 1-1- k-k- ( )333 Ltd \	ベンチマー		ランク		別減率(前年度比) %
日碍	厚値等(選択)	<b></b>	(延床面積当たり)			排出量(総量) t
		その他		特記事項に内容を	記載	
	11. <del></del>					
3 !	持記事項					

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	柴岬	奇シ	ルバ	<b>;</b> — <u>Г</u>	フータ	クセ、	ンタ、	_										
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	0	4	8								
					₹	1	9	0	_	0	0	2	3	区ī	市 町	村。	名勇	東京都立	立川市	i		
事	業所等	等 の	所在	地	町。以	名 番	争 地 下	柴嶋	· 寄町-	-丁目	17智	昏7号										
事	業所等	多の多	延床面	ī積			598	.40	$m^2$			「等 レキ			責年 用:		の 間	■ 1年	度分		□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	]所	有		] 他	1者月	沂有										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		] 建	物の	)— <sup>₽</sup>	部(ラ	ーナン	√ <b>⊦</b> )			建物	の一背	部(そ	その1	他)
共口	告範囲	$\mathcal{L}$	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	加販)			商業	施設(	(飲1	食)	
羊区	口軋团	Vノ土	ここの月	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	没				その何	也			
に	本 標 : おける	細り	<b>分類</b> 番	号	9	9	9	9			(事)	業区2			直営		[	□ 加!	盟店		<b>=</b>	非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ と置	_		再生 気の	.可能 受入	ニエネ	ルギ	一電			書によ。 引用	る環	:境価	i値
前か	年度の			容点																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 7	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 14	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 23.3	$kg-CO_2/m^2$

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	<b>®</b> =(⑥/1000)×⑦	<b>尔</b>	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	2,281.3	45.00	102.7	0.0136	5.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
m	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	18,655.0	9.76	182.1	0.4890	9.1
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 284.7		14.2
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	165.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	165.0	/		0.4000	0.1
		合 計				/			0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点文	「朿		その他対策	
		対策番号		対策名	対策番号	対策名	
組絹	職体制の整備						
エジ	ネルギー等の	B106	過去のデータ	こよる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に	
	用状況の把握				B105	エネルギー使用量の前	年度比較
$\Box$							
	運用対策						
省							
エ							
ネル							
ギー							
対	設備保守対策						
水	以 畑 小 ハ ハ 水						
ŀ							
	=0.7#.\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\						
	設備導入対策						
実績	<b>手</b> 年度の目標達成	の状況	□目標達座	成した。			
= 4	担山左帝の地域	ショ 咬 ルキ		•			
	提出年度の地球 標 の 有 無	□有	■無	]			
		ベンチマー		ラン	·ク CO	2削減率(前年度比)	%
目標	厚値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)	kg-	$CO_2/m^2$ $CO_2$	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容	を記載		_
C 1	化包束压						
3 <i>t</i>	持記事項						

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	シバ	レバ・	一人	.材1	センク	ター	砂川	分室	Ē							
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	0	4	9						
					₹	1	9	0	_	0	0	3	1	区ī	† 町	村々	五 東京都立川	市		
事	業所	等 の	所在	地	町。	名 番	<b>地下</b>	砂川	町―	·丁目	52番	≸16、	52	番17						
事	業所等	争の多	延床面	ī積			91	.64	$m^2$		業				責年 用			}	□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	引所を	有		] 他	1.者页	桁								
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		] 建	物の	)— <sup>‡</sup>	邪(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の−	·部(-	その作	也)
共口	告範囲	$\mathcal{L}$	・たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	7販)		□ 商業施設	と(飲	食)	
羊区	口軋团	Vノ土	ここの月	力还		工場	<u>=</u>					複合	施調	没			□ その他			
に	本 標 : おける	細り	<b>分類</b> 番	号	9	9	9	9		鎖化	(事)	<b>美区</b> 2	分		直営	店	□ 加盟店	i	<b>■</b> 身	<b>非該当</b>
再の	生可能	とエ 用	ネルキ 状	況				ミエネ 背の設	ルギ 世	_		再生 気の			ルギー	一電	□ 証書に の利用	よる環	境価	値
前か	年度の			容点																

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 2	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 5	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	<b>4</b> 5	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 54.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup> (t)
			灰用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(10)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	691.0	50.80	35.1	0.0161	2.1
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	6,090.0	9.76	59.4	0.4890	3.0
規貝	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					94.5		5.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	23.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	23.0	/		0.4000	0.0
		合 計				/			0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点文	「朿		その他対策	
		対策番号		対策名	対策番号	対策名	
組絹	職体制の整備						
エジ	ネルギー等の	B106	過去のデータ	こよる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に	
	用状況の把握				B105	エネルギー使用量の前	年度比較
$\Box$							
	運用対策						
省							
エ							
ネル							
ギー							
対	設備保守対策						
水	以 畑 小 ハ ハ 水						
ŀ							
	=0.7#.\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\						
	設備導入対策						
実績	<b>手</b> 年度の目標達成	の状況	□目標達座	成した。			
= 4	担山左帝の地域	ショ 咬 ルキ		•			
	提出年度の地球 標 の 有 無	□有	■無	]			
		ベンチマー		ラン	·ク CO	2削減率(前年度比)	%
目標	厚値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)	kg-	$CO_2/m^2$ $CO_2$	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容	を記載		_
C 1	化包束压						
3 <i>t</i>	持記事項						

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	旧五	<b>立</b> 川	市立	多	奪川	小肖	4校	跡施	設							
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	0	6	2						
					₹	1	9	0	_	0	0	1	3	区ī	† 町	村名	五 東京都立川	市		
事	業所	等 の	所 在	地	町。以	名 番	争 地 下	富士	:見町	ſ6− <i>-</i>	46-	1								
事	業所等	きの3	延床面	ī積		5	,906	.12	$m^2$			「等 レキ			責年 用:			分	1	年未満
所	有		形	態		自己	]所	有		] 他	1者月	斤有					-			
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		] 建	物の	)—‡	郭(ラ	テナン	√ <b>ト</b> )		□ 建物の-	−部(-	その	他)
共口	告範囲	$\mathcal{O}$	- たて日	1 1/2		事務	所					商業	纟施	没(物	7販)		□ 商業施設	设(飲	食)	
羊区	口軋团	Vノ土	こにの月	1 还		工場	<u>司</u>					複合	施	設			■ その他			
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	2	9	9			(事)	業区2			直営		□ 加盟店	i		非該当
再の	生可能	とエ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ と置	_		再生気の			ルギ	一電	□ 証書に の利用		環境価	i値
前か	年度ら			容点																

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 34	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 67	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 11.3	$kg-CO_2/m^2$

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の種別		0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 <b>奴</b> (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	6,186.6	45.00	278.4	0.0136	13.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	1,043.0	36.70	38.3	0.0185	2.6
び熱	その他()				0.0				
Thi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	105,213.0	9.76	1,026.9	0.4890	51.4
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(1)</sup> 1,343.6		<sup>(15)</sup> 67.9
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	983.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	983.0	/		0.4000	0.4
	<u> </u>	合 計				/			0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

1	地球温暖化対策の実施状況	1
4	邓紫温暖化》 束切夹 雕状 次	ľ

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善		
組糸	職体制の整備				
	L , W ++ 0			B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	ネルギー等の用状況の把握			B105	エネルギー使用量の前年度比較
		C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C502	採光を利用した消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
	運用対策	C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
省				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
工				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
ネル				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
ギー		D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		
		-		

6	特記事項		

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	商师	吉街	活性	比化力	施設												
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	2	4							
					₹	1	9	0		0	0	2	3	区	市町	村	名	東京都立川市	†i		
事	業所等	等 の	所在	地	町。以	名 番	<b>地</b> 下	柴崎	5町3	-8-	-10										
事	業所等	多の多	延床面	ī積			108	.58	$m^2$		業				責年 用		の 間	■ 1年度分	ì		1年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		] 建	物の	)— <sup>‡</sup>	邪(ラ	テナン	/ト)			]建物の一	部(	その	他)
共口	告範囲	$\mathcal{L}$	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	物販)			商業施設	(飲	食)	
羊区	口軋团	Vノ土	ここの月	1 歴		工場	<u>=</u> 7					複合	施	設				その他			
に	本 標 おける	細り	<b>分類</b> 番	号	7	6	1	1		鎖化	(事)				直営			□ 加盟店		<b>=</b> 3	非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の	可能受入	ミエネ	ベルギ	一電	ı	□ 証書に。 の利用	よる雰	環境価	<b>近</b>
前か	年度の			容点																	

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 18.4	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		日玉 (1・2) 10	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8)×9)×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
700	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	5,038.0	9.97	50.2	0.4890	2.5
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	[の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					50.2		2.5
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	30.0			0.2660	0.0
他	公共下水道	_		$\mathrm{m}^3$	30.0			0.4000	0.0
		合 計				$\overline{}$			0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点文	「朿		その他対策	
		対策番号		対策名	対策番号	対策名	
組絹	職体制の整備						
エジ	ネルギー等の	B106	過去のデータ	こよる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に	
	用状況の把握				B105	エネルギー使用量の前	年度比較
$\Box$							
	運用対策						
省							
エ							
ネル							
ギー							
対	設備保守対策						
水	以 畑 小 ハ ハ 水						
	=0.7#.\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\						
	設備導入対策						
実績	<b>手</b> 年度の目標達成	の状況	□目標達座	成した。			
= 4	担山左帝の地域	ショ 咬 ルキ		•			
	提出年度の地球 標 の 有 無	□有	■無	]			
		ベンチマー		ラン	·ク CO	2削減率(前年度比)	%
目標	厚値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)	kg-	$CO_2/m^2$ $CO_2$	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容	を記載		_
C 1	化包束压						
3 <i>t</i>	持記事項						

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	ファ	<b>,</b> —<	<b>7</b> —,	ズセ	ンタ	·— <i>7</i> ,	ょの、	一れ	立力							
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	2	6						
					₹	1	9	0	_	0	0	3	1	区ī	† 町	村名	東京都立川市	Ħ		
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	养 地 下	砂川	町2	-1-	-5									
事	業所等	多の多	正床面	ī積			474	.76	$m^2$			「等 レギ			責年 用:			. [	] 1年	未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		] 他	1者月	沂有								
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		] 建	物の	) <del>一</del> 岩	郭(ラ	ーナン	<b>/</b> ト)		□ 建物の一	部(そ	の他	)
共口	告範囲	の主	たて日	日次		事務	所					商業	纟施言	没(物	7販)		□ 商業施設	(飲食	(;)	
羊区	口軋团	ひ土	ハこのH	力还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没			□ その他			
に	本 標 おける	細り	う類 番	号	5	8	2	1			(事)	業区2	分		直営	店	□ 加盟店		非	該当
再の	生可能	ピエン 用	ネルキ 状	一 況				エネ すの設	ルギ と置	_		再生 気の			ルギ	一電	□ 証書によ の利用	る環境	竟価値	Ĺ
前か	年度の			容点																

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 40	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 78	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	<sup>4</sup> 78	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 164.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1 4 2 1 1 1 1 1	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
mi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	159,707.0	9.76	1,558.7	0.4890	78.1
規則	]第5条の17第3項	の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 1,558.7		78.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	1,610.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	0.0	/		0.4000	0.0
		合 計				/			0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策		重点文	策			その他対策	
		対策番号		対策名		対策番号	対策	名
組	織体制の整備							
	ネルギー等の 用状況の把握 -					B101	自ら入手可能な情報	<b>最に基づく把握</b>
省エ、	運用対策							
ネルギー 対策	設備保守対策							
	設備導入対策							
±-4	また中の日標を出		□ 目標達原	+1 <i>-</i> -	7			
天形	責年度の目標達成			以した。	_			
	提出年度の地球							
	標の有無	□有	無無		_			
<b>→</b> 1-	T (-1-66 () 77 (P)	ベンチマー			ランク		別減率(前年度比)	%
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)	(LL == -1	kg-CC		排出量(総量)	t
		その他		特記事項に	内容を	記載		
6	特記事項							
_	14 HL 7							

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称窓口サービスセンター	
事業所番号A10000-0161	
〒 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村名 東京都立川	市
事業所等の所在地 町名番地 以 下	
事業所等の延床面積 599.00 m <sup>2</sup> 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 1年度分	→ □ 1年未満
所 有 形 態 ■ 自己所有 □ 他者所有	
報 告 範 囲 □ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一	·部(その他)
報告範囲の主たる用途 ■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設	<b>党(飲食)</b>
□ 工場 □ 複合施設 □ その他	
日 本 標 準 産 業 分 類 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店における細 分類番 号 9 8 2 1	■ 非該当
再生可能エネルギー の 利 用 状 況 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書に の 利 用 状 況 の利用	よる環境価値
前年度の報告内容からの変更点	

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	16	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 32	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	(4) 32	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	53.4	$kg-CO_2/m^2$

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田田 4 1 4 1 4 1 4 1 4	推計		<b>4.</b> m =	牙业	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	・ 間不明の場合を含む。)		kWh	67,297.0	9.76	656.8	0.4890	32.9
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 656.8		32.9
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	204.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	204.0			0.4000	0.1
	-	合 計				/			0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策		重点対策			その他	対策	
		対策番号	対策名		対策番	号	対策名	
		A502	ビルで設置する推進体制	への協力				
<b>公口</b> :	強 休 判 の 敷 借							
<b>乔</b> 丑. 7	織体制の整備							
	) and total							
工	ネルギー等の 用状況の把握							
<b>汉</b>	<b>市 小 ルッ 16 1</b> 年							
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
7								
対								
策	設備保守対策							
	=n. /#= \>= = 1.1 &							
	設備導入対策							
	•					•		
実績	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。					
_	担口欠歯の取り	2.油 10. 7. 4.	1.45° 0. 11 <del>1.45°</del>					
ິ	提出年度の地球標の 標の有無							
	標 () 1 悪	□有	無		10	10 WILLE		
	131 - 13 3111			ランク	C	O <sub>2</sub> 削減率(前年度	[比)	%
目		ベンチマー						t
目	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)	kg-CC	-	O <sub>2</sub> 排出量(総量)		ι
目			(延床面積当たり)	kg-CC 頁に内容を	-	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		ľ
目		CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		
目相		CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	O <sub>2</sub> 排出量(総量)		<u> </u>
目相	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	O <sub>2</sub> 排出量(総量)		<u> </u>
目相	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	O <sub>2</sub> 排出量(総量)		
目相	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		<u> </u>
目相	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	O <sub>2</sub> 排出量(総量)		
目相	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		
目相	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		
目相	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		
目相	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		
目相	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		
目相	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		-	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		

#### 1 事業所等の概要

事	** 市		の名	孙	北h k	<del></del>	/// 津田	出土	十分	4)	K												
<b>P</b>	来 川	寺	の名	か	地市	<b>火</b> 又	1匕胡	€Ш;	丈 裲	<i>e</i> h	/徐												
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	7	1									
					₹	1	9	0	_	0	0	2	2	区	市	町	村	名	東京都立	川市			
事	業所	等 ₫	所 在	地	町夕以	名 番	<b>予地</b> 下	錦町	ſ3−5-									-					
事	業所等	等の タ	延床面	ī積			206	.23	$m^2$	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の :	実 ; · 使	績	年 用:		の 間	■ 1年月	度分		] 14	年未満
所	有	•	形	態		自己	引所不	有		■ 他	1者前	桁											
報	告		範	囲		建物	<b>カ</b> の全	全部		■ 建	物の	)— <sup>₽</sup>	郭(ラ	テナ	ン	F)			] 建物の	つ一部	ß (そ	- の他	<u>月</u> )
拉	告範囲	i on t	ーたス日	1 沦		事務	新					商業	纟施	没(/	物	販)			〕商業旗	包設(1	飲食	£)	
平区	口型团	リックユ	:/この /l	7 灰		工場	<u>司</u> 切					複合	施	設					〕その他	pī			
	本 標 おける	細	分類番	号	9	8	2	1			と事業	<b>美区</b> 2	分		Ī	直営	店		□ 加盟	悲店		■ 排	該当
再の	生可能 利	とエ 用	ネルキ 状	<sup>-</sup> 一 況			三可能 記設備			_		再生 気の			ネノ	レギ	一電	Ĺ	□証書の利	序による  用	5環!	竟価値	恒
前か	年度らる		设 告 内 定 更	容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 2	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 4	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 19.3	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田田田山小川加	推計			15. 半4.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の出	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	9,984.0	9.76	97.4	0.4890	4.9
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					97.4		<sup>15</sup> 4.9
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	0.0			0.2660	0.0
他	公共下水道	_		$\mathrm{m}^3$	0.0	$\overline{}$		0.4000	0.0
	<u> </u>	合 計				/			0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対	策
		対策番号	3	対策名		対策番号	文	付策名
組糸	織体制の整備							
	ネルギー等の 用状況の把握							
		C105	昼休み時の消息	丁の実施		C101	空室•不在時等	のこまめな消灯
省	運用対策							
エネルギー								
廿	設備保守対策							
	設備導入対策							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	戈した。	]	I		
5 	提出年度の地球 標の有無	₹温暖化菜 □ 有	対策の目標 ■ 無					
		ベンチマー			ランク		削減率(前年度比	%
目標	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量 その他	(延床面積当たり)	特記事項に	kg-CC	-	排出量(総量)	t
		TO VAILE		付記事項に	円合て	山戦		
6	特記事項							

1	事業所等の概要
1	サポ川 サツルタ

_	T/N/	. 1 .4	1.762	· .																		
事	業所	等	の名	3 称	コト	リン:	ク1階	皆特点	産品	販売	Ē&:	カフ	エ									
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0	_	0	1	7	9								
	NIV	tota		- u.	Ŧ	1	9	0		0	0	2	3	区	市	町木	寸々	古立	川市			
事	業所	等 0	)所不	王 地	町夕以	名 番	F 地 下	柴崎			그닌											
事	業所等	等の	延床	面積			330	.00	$m^2$	事	業 所 ネ ル	「等 レキ	の : 	実 á 使	漬 : 月	年月	复 <i>の</i> 月 間	) 目	] 1年	度分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	2所7	<u>有</u>		] 他	1者月	桁										
報	告	1	範	囲		建物	カの全	全部		建	物の	)—キ	郭 (ラ	ーナン	ント	)			建物の	り一部	『(そ(	の他)
也	告範囲	i n i	ーたス	田之		事務	所					商業	纟施言	没(集	勿則	反)			商業加	<b>拖設(</b> 1	飲食	)
TIX	口里也口	コマノユ	ニ/こる)	用处		工場	<u>크</u> 7					複合	施	没					その化	<u>h</u>		
に	本 標 おける	5細2	分類	番号	5	6	9	9	連	鎖化	/事業	<b>業区</b> :	分		直	[営元	吉		〕加盟	且店		非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネル: 状	ギー 況			可能 設備		ルギ :置	_			:可能 :受入		ネル	ギー	·電		証 割 の利	i  月	5環境	価値
前か	年度らい	の 執 の <i>多</i>																				

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 33	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 64	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	<sup>④</sup> 64	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 193.9	$kg-CO_2/m^2$

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計		// H I	1 N//	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>小教</b> ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	415.7	45.00	18.7	0.0136	0.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	129,810.0	9.97	1,294.2	0.4890	63.5
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	<sup>(1)</sup> 1,312.9		64.4
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	0.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	0.0	/		0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策			その他対	策
		対策番号	対策名		対策番	号	<b> </b>
		A502	ビルで設置する推進体制へ	の協力			
<b>公日</b> :	織体制の整備						
<b>下</b>							
~	ネルギー等の						
	用状況の把握						
		C123	温湿度の適正管理				
	運 用 対 策						
省							
エュ							
ネル							
ギ		D101					
 対		D101	ランプ等の定期的な清掃・フ				
対策	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点格	<b></b>			
		E103		<u></u>			
		E103	高効率照明器具の採用(屋	<u> </u>			
	設備導入対策						
	<u> </u>	<u> </u>					
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。				
	担山年帝の地は		策の目標				
			<b>I</b> ■ <b>I</b> <del>III.</del>				
		□有	<u> </u>				
		□ 有 べンチマー		ランク		CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	96
目		ベンチマー		ランク kg-CC		CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比) CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	+
<u> </u>	標の有無	ベンチマー	ク区分	kg-CC	$O_2/m^2$		+
	標の有無	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		
ョ ョ 杉	標の有無票値等(選択)	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		+
目相	標の有無	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		1
ョ ョ 杉	標の有無票値等(選択)	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		<del> </del>
目 目 杉	標の有無票値等(選択)	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		<del> </del>
目相	標の有無票値等(選択)	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		
目相	標の有無票値等(選択)	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		<del> </del>
目相	標の有無票値等(選択)	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		+
目相	標の有無票値等(選択)	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		t t
目相	標の有無票値等(選択)	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		+
目相	標の有無票値等(選択)	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		+
目相	標の有無票値等(選択)	ベン CO <sub>2</sub> 排出量	ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	$O_2/m^2$		<del> </del>

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	コト	リン:	ク3階	皆情	報発	信せ	マンク	ター								
事	業	所	番	号	А	1	0	0	0		0	1	8	0						
					₹	1	9	0	_	0	0	2	3	区ī	† 町	村	名	立川市		
事	業所	等 σ.	所在	地	町:以	名 番	<b>*</b> 地下	柴峪	5町3-	-9-2	그ト!	Jンク	3F							
事	業所等	きの	延床面	ī積			110	.00	$m^2$		業				責年 用:		の間	□ 1年度分		1年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		] 他	1.者页	桁								
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		■ 建	物の	)— <sup>‡</sup>	邪(ラ	テナン	√ <b>ト</b> )			]建物の一部	部(その	の他)
共口	<b>生</b>	のナたフ	ーたス日	る用途		事務	所					商業	(施	没(物	7販)			〕 商業施設(	飲食	)
羊区	口軋团	Vノ土	王たる月			工場	<u>司</u>					複合	施	設				こその他		
に	本 標 おける	細	分類番	号号	7	9	9	9		鎖化	と事 き				直営			□ 加盟店		非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	デー 況			三可能 記設備		ルギ と置	_		再生 気の			ルギ	一電	ı	□ 証書によの利用	る環境	価値
前か	年度ら			容点																

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 3	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 3	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 27.2	$kg-CO_2/m^2$

# 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup>	
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 <b>奴</b> (9	(t) @=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	7,445.0	9.97	74.2	0.4890	3.6
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	<sup>(14)</sup> 74.2		3.6
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	6.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	0.0	/		0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネル	x制の整備 マギー等の 対況の把握	対策番号 A502 B103 B106	ビルで設置する 時間的に詳細	対策名 5推進体制への協力 に把握 こよる傾向の把握	対策番	号	対策名	
エネル	ノギー 等 の	B103 B106	時間的に詳細	に把握				
エネル	ノギー 等 の	B106						
エネル	ノギー 等 の	B106						
		B106						
		B106						
			過去のテータ(	こよる傾同の把握				
		C123						
		C123	温湿度の適正	<b>答</b> 理				
		C704	スポット照明の					
		C704	利用客数の時					
		C720		時間の季節別管理				
運	用対策	C120	10000000000000000000000000000000000000	門門少子即加百在				
	/11 /1 /K							
省								
エ   ネ								
ル								
ギ		D101	ランプ等の定其	明的な清掃・交換				
· 対			7 7 1 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	30.0 00111310 20200				
策   設 🖟	備保守対策							
		E103	高効率照明器	 具の採用(屋内)				
設 (	備導入対策							
			·		1			
実績年月	<b>変の目標達成</b>	の状況	□目標達成	成した。				
- 48 11	た英のは母	公月 110 八, 上	1.45t o D 1 <del>44</del>					
<ul><li> 徒口</li><li> 標</li></ul>	出年度の地球 の 有 無		■無	1				
	77 有 無	<u></u> 口 有 ベンチマー		ランク	1,	 CO <sub>2</sub> 削減率(前	在 年 以	0/
	++ (\12.1m)							%
日標値等	等(選択)		(延床面積当たり)	kg-C(		CO <sub>2</sub> 排出量(総	(量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載			
5 特記	2事項							